

12月は廃棄物適正処理推進強化月間

県では、12月を「廃棄物適正処理推進強化月間」として、不法投棄のパトロールや処分業者への立入検査などを集中的に実施しています。不法投棄などの不適正処理は、予防と早期発見がとても重要です。環境を守るため、不適正処理の防止にご協力をお願いします。

不法投棄の現状

道路周辺のポイ捨てだけでなく、人目につきにくい荒廃地や山林など、村内でも悪質な不法投棄が増加しています。



山林に投棄された一般廃棄物



茂みに投棄された産業廃棄物

不法投棄の防止

村では、監視カメラを設置するなど、取り締まりの強化を図っています。また、パトロールや啓発看板の設置などを行い、不法投棄の防止に取り組んでいます。依然として一部の心ない人による不法投棄はなくなりません。

不法投棄の防止には、地元住民の目が一番の対策です。私有地の草刈りをしたり、人が立ち入らないようにするなど、捨てさせない・捨てられない環境づくりにご協力をよろしくお願いします。

地域おこし協力隊通信

▶問合せ 企画課地域振興係
☎25-3442

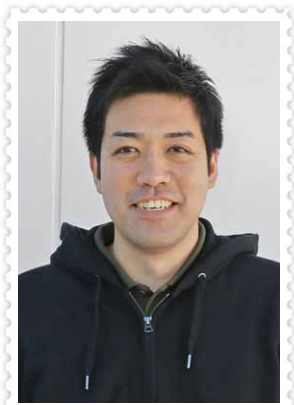


出会いとつながり

地域おこし協力隊の綿貫秀人です。

旬菜館に『群馬グリーンウイングス』のポスターが貼られています。なぜ貼られているかというところ、とある出会いがあったからです。

休日を利用し、サッカーの試合観戦に行った日、会場近くで群馬グリーンウイングスの選手たちが広報活動をされていました。



昭和村地域おこし協力隊
しゅうと 綿貫 秀人 隊員

道の駅「あぐりーむ昭和」
旬菜館で活動中！



その時に選手と話をする機会があり、私が昭和村から来たことを伝えると「夏に昭和村で合宿をしたんです！とうもろこしが美味しかったです。」と言われ、まさかの出会いにびっくりしました。

人との繋がりはどこにあるかわからないし、こういった繋がりには大事にしていきたいと思いました。